



近世後期における京都金相場の変動：大坂および江戸との対比において（〈特集〉経済史のフロンティア）

草野，正裕

(Citation)

国民経済雑誌, 207(1):1-28

(Issue Date)

2013-01

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81008452>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81008452>



近世後期における京都金相場の変動

——大坂および江戸との対比において——

草 野 正 裕

国民経済雑誌 第207巻 第1号 抜刷

平成25年1月

近世後期における京都金相場の変動

——大坂および江戸との対比において——

草 野 正 裕

本稿は、近世後期における京都金相場の変動を、大坂および江戸との比較において論じたものである。京都は地理的に大坂に近く、金相場の変動パターンは大坂のそれと大差ないものと思われがちである。それに対して、江戸金相場の動きは、アプリアリには京阪のそれとはかなり異なっていたと思われるかもしれない。しかし、本稿で明らかとなったところでは、驚くべきことに、金相場の変動パターン、とくに地域ごとの相関は、京都と江戸で密接に関連しており、大坂は相当程度独自の動きを示していたのである。

キーワード 近世後期、京都金相場、大坂金相場、江戸金相場、相関

はじめに

繰り返し述べたように、近世物価史研究とりわけ近世における物価の地域差を論じる場合には、われわれは、三貨および札相互の交換比率（金銀銭相場および札価）の変動とその地域差の問題を、困難ではあるが正確に把握する必要がある。

また、貨幣史研究の場合にも、金銀銭相場および札価の問題は、貨幣改鋳との関係も深く、重要な問題であることは疑いを入れない。

本稿は、近世後期における京都金相場の変動を、大坂および江戸との比較において論じたものである。筆者は以前、三都（京・大坂・江戸）の金（銀）相場の変動を検討したことがあるが、¹⁾その際、京都金相場については、1830（天保元）年から1867（慶応3）年までの38年間のデータしか利用することができなかった。したがって、事実の観察や解釈は限定されたものとならざるを得なかった。そこで今回は、もうすこし長期にわたる別の京都金相場データをもちいて、再び京都を中心とした三都の金（銀）相場の変動を観察分析することとした。

京都は地理的に大坂に近く、金相場の変動パターンは大坂のそれと大差ないものと思われがちである。それに対して、江戸金（銀）相場の動きは、アプリアリには京阪のそれとはかなり異なっていたと思われるのではないだろうか。

しかし、本稿で明らかとなったところでは、驚くべきことに、金相場の変動パターン、と

くに地域ごとの相関は、京都と江戸で密接に関連しており、大坂は相当程度独自の動きを示していたのである。

1 二つの京都金相場

はじめに、以前もちいた京都金相場と、今回もちいた別の京都金相場とがどの程度違うか、その異同を簡単にチェックしておくこととしたい。

図1は、大坂金相場（金1両につき銀匁）との対比において、二つの京都金相場（金1両につき銀匁）をグラフ化したものである。大坂金相場の系列は、かつて新保博氏が整理作成されたものである³⁾。図1下段には、その各年値が点線でグラフ化されている（金1両につき銀匁、半対数目盛）。

中段に描かれているのは、二つの京都金相場である。点線が旧京都金相場（金1両につき銀匁、半対数目盛）、実線が、今回新たに作成した新京都金相場（金1両につき銀匁、半対数目盛）である。

旧京都金相場の系列は、かつて宮本又郎氏が整理作成されたものである⁴⁾。筆者は以前、この宮本系列をもちいて、三都の金（銀）相場を検討したことがある⁵⁾。しかし宮本系列は、金相場にかんし1830（天保元）年から1867（慶応3）年までの38年間しかデータを利用できなかった。そこで今回はもうすこし長期のデータを利用することとした。

今回もちいた資料は、「京都の金相場・銭相場毎年最高最低平均表（自宝暦三年至慶応四年壹百拾六年）（1753-1868）—京都三井呉服店（本店）「相場帳」抄出⁶⁾」である。

この資料をもちいた研究は、管見の限りでは、これまでのところ見当たらないようである。

資料には、毎年の京都金相場の最高値と最低値およびその平均値が記載されている⁷⁾。平均値の計算には誤りも散見され、この場合、最高値と最低値の数字の方に誤記があるかもしれない、修正はもとより困難とも思われるが、一応、最高値と最低値の数字は正しいものとして、平均値の数字の方を再計算することとした⁸⁾。そして、これら毎年の最高値と最低値の平均値を各年の京都金相場の代表値とした。これを、新京都金相場と呼ぶこととする。

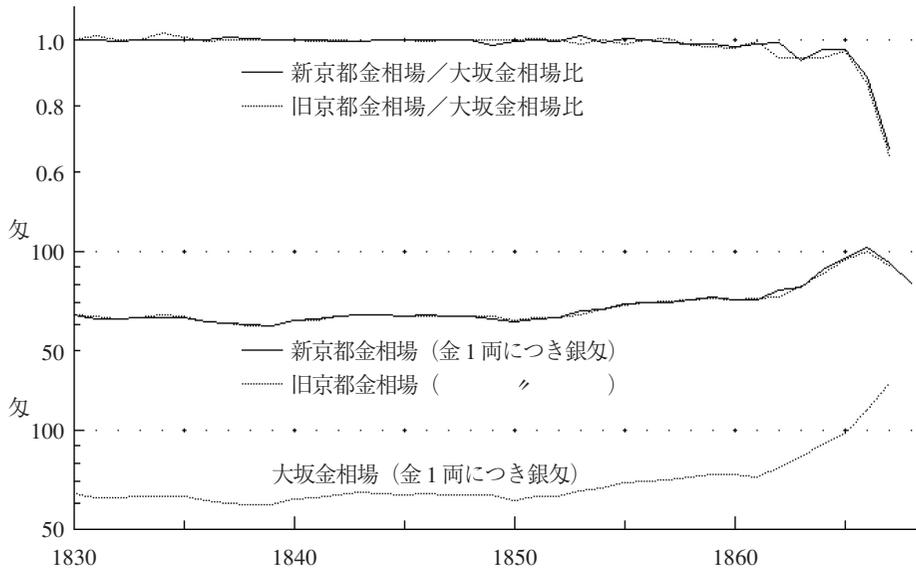
つぎに図1上段に描かれているのは、点線が旧京都金相場／大坂金相場比（単位1、普通目盛）、実線が新京都金相場／大坂金相場比（単位1、普通目盛）のグラフである。

さて、図1中段を見ると旧京都金相場（宮本）と新京都金相場（両替年代記）のそれぞれ各年値は、この期間を通じてほとんど同じであったと言ってよいであろう。

しかし、わずかな相違も見られるので、その点にかんして若干の指摘を行っておくこととする。

1830年代前半、1850年代前半、1860年代前半は、旧京都金相場（宮本）と新京都金相場（両替年代記）とでやや相違が見られる。新系列は旧系列に比べて、京都金相場が1830年代

図1 二つの京都金相場（対大坂金相場）



前半はやや低く、時の経過とともに幕末に向かって高くなっている。その結果、図1上段に見られるように、新京都金相場は大坂との比較で、1830年代前半は相対的に金安（銀高）であったが、時代が進むにつれて、金高（銀安）となっているのである。

2 京都金相場と大坂金相場

さて、いよいよ、やや長期にわたる新京都金相場の系列をもちいて、大坂金相場との比較を行うこととしたい。

大坂金相場の系列は、先にも述べたように新保博氏が整理作成されたものである。図2 A下段には、その各年値がグラフ化されている（金1両につき銀匁、半対数目盛）。また図2 B下段には、その5ヵ年移動平均値と波動の峰（○）と谷（●）が描き込まれている（金1両につき銀匁、半対数目盛）。

つぎに、図2 A中段には、今回もちいた新京都金相場の各年値がグラフ化されている（金1両につき銀匁、半対数目盛）。また図2 B中段には、その5ヵ年移動平均値と波動の峰（○）と谷（●）が描き込まれている（金1両につき銀匁、半対数目盛）。

最後に図2 A上段には、京都金相場／大坂金相場比（単位1，普通目盛）がグラフ化されている。たとえば、1753（宝暦3）年に、京都金相場は金1両につき銀59.425匁、大坂金相場は金1両につき銀59.43匁であったから、この比は、 $59.425 / 59.43 \approx 0.999916$ となる。また、図2 B上段には、その5ヵ年移動平均値と波動の峰（○）と谷（●）が描き込まれてい

図 2 A 京都金相場(対大坂金相場)

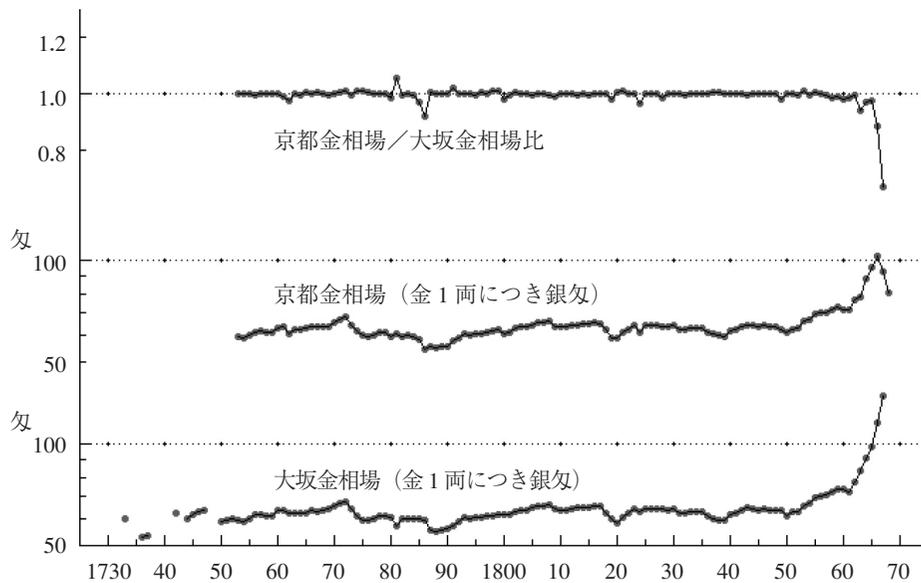
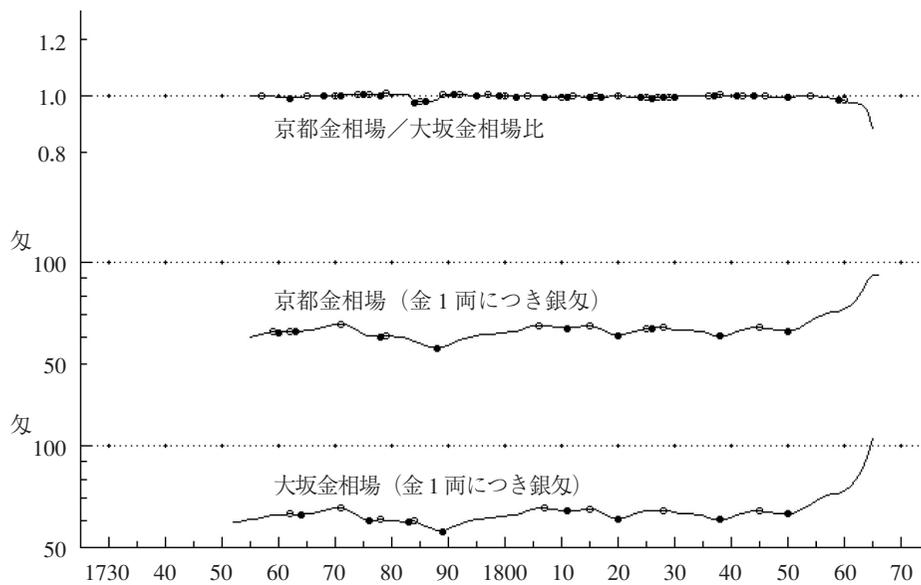


図 2 B 同上 5 ヶ年移動平均と峰および谷



る（単位1，普通目盛）。

まず、図2 A 下段の大坂金相場の変動を見ると、1730年代は低い水準にあったと思われる、1740年代はやや高い水準に上昇している。1736（元文元）年、1737（元文2）年は、それぞれ金1両につき銀52.9匁、53.5匁となっていて本稿で対象とした期間ではもっとも金安銀高となっている。

1752（宝暦2）年から5ヵ年移動平均値が利用できるので、図2 B 下段の大坂金相場の循環的変動を見ると、いくつかの明瞭なサイクルを見いだすことができる。1750年代から上昇しはじめた大坂金相場は、1771（明和8）年に峰に達し、その後、1789（寛政元）年の谷に向かって下降した。ついで金相場は再び上昇をはじめ、1810年前後の峰を経て、1820（文政3）年の谷へと下降している。

その後は、1820（文政3）年の谷から1828（文政11）年の峰を経て1838（天保9）年の谷に至るサイクル、ついで1838（天保9）年の谷から1845（弘化2）年の峰を経て1850（嘉永3）年の谷に至るサイクルの両者を観察することができる。しかし、1850（嘉永3）年の谷以降は、大坂金相場は一方的な上昇の傾向となっている⁹⁾。

つぎに、図2 A 中段の京都金相場の変動を見ると、これは基本的には大坂のそれと同じように推移していることがわかる。

図2 B を見ても、京都と大坂で全体として峰および谷の位置はだいたい一致している。とくに1820年代以降はほぼ完全に一致している。文政期（1818～29年）以降は京都大坂両地金相場の連動が著しく強まったと言えよう。

図2 A、図2 B 上段の京都金相場／大坂金相場比を見ながらもうすこし詳しく観察すると、1780年代前半は京都／大坂比は下降傾向になっている。これは、京都金相場は下落したけれども大坂金相場は横ばいで、相対的には大坂金相場が高かったことが原因となっている。

幕末60年代になると両地金相場の動向は大きく異なったものとなる。京都／大坂比は1866（慶応2）年からはっきり下落し始めている。1867（慶応3）年に大坂は金相場がなお急速に上昇するが、京都では下落し始めている。総じて、5ヵ年移動平均の系列を見ると明らかのように、60年代の金相場上昇圧力は京都の方がはるかに小さかったのである¹⁰⁾。

京都／大坂比は、幕末期に大きく下降し、京都金相場に比べ大坂金相場の方が急速に上昇したのであるが、このような現象はどのようにして生じたのであろうか。これは、通常指摘されるように、幕末期になると、大坂金相場が銀目信用手段（銀札・銀目手形）と計数貨幣（小判など）との交換比率になったことが反映していると考えられよう。

つぎに、変動係数のグラフをもちいて、京都金相場の変動の激しさを、大坂金相場のそれとの対比で検討することとしたい。

図3の変動係数のグラフは、この目的のために作成したものである。下段には大坂金相場、

中段には京都金相場、上段には京都金相場／大坂金相場比のそれぞれ5年期ごとの変動係数が図示されている。

変動係数は、いくつかの変量について、標準偏差が平均の何%にあたるかというかたちで定式化される。グラフ化に際しては、1750（寛延3）年から1754（宝暦4）年の5年間の変動係数を、その中央年である1752（宝暦2）年にドットするというふうに、いわば「5カ年移動変動係数」とでも呼べるようなかたちで処理されている。本論文で変動係数をもちいたのは、このタームをたんに変動の激しさをあらわす目安にしようというにすぎない。変動係数をもちいることによって、大坂金相場、京都金相場、京都金相場／大坂金相場比の系列が、実際にどの程度の幅で変動していたか、あるいは変動しなかったかが明らかとなる。

従来、変動係数は、長期の時系列に適用する場合には、「期間変動係数比較」のような形でもちいられることが多かった。すなわち時系列をたとえば20年ごとに区切って、20年ごとに変動係数を算出し、相互に比較するという方法がとられた。この方法によると、期間の区切り方に恣意性が残るということを別にしても、標準偏差の計算において変量の順序はまったく任意でよいということから生じる避けがたい問題に逢着する。たとえば、はじめの10年間に変動が激しく、つぎの10年間は安定的であった場合と、その逆の場合とが、まったく同様に扱われるというような問題が生じる。そこでこれらの問題を、できるだけ回避するために、「5カ年移動変動係数」とでも呼べるようなものを工夫し、期間の区切り方についての恣意性をなくし、順序交換可能性から生じる問題をなるべく小さくするように配慮したのである。¹¹⁾

さて図3の観察に移る。下段の大坂金相場の変動係数が5%を越えることはまれであるが、1770年代前半、1820年前後、幕末期には変動係数が大きくなっている。これらのことは中段の京都についても同様で、両地の変動の態様はほぼ同じであったことがわかる。もっとも、全体としては大坂の方が変動係数が小さい場合が多いようであるが、これは大坂の方が相場の調整機能が働いていたことが影響していると考えられる。一点、目につくのは1860年代に入ってからで、大坂の変動係数は明らかに大きくなっている。細かく見ると、1830年代の初めまでは大坂の方が変動係数が小さいが、1830年代の後半以降になると大坂の変動係数が大きくなっているのである。

また、上段の京都／大坂比が大きいのは1780年代、1820年代、1860年代である。

いま見たように、1860年代以降になると、大坂金相場ほどではないにせよ、京都金相場の変動係数は大きくなっている。これは、大坂金相場や江戸金相場の場合と同様、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄が、京都金相場変動係数の急激な増大に大きくかかわったと思われる。¹²⁾

つぎに、京都金相場と大坂金相場の時期ごとの相関の度合いを検討することとしたい。

図3 京都、大坂金相場の変動係数

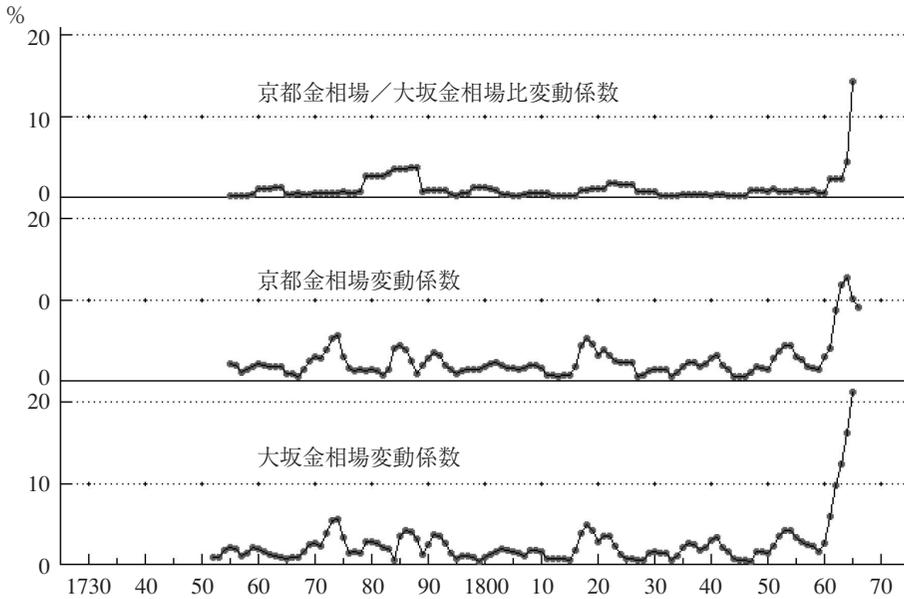


図4は、京都金相場と大坂金相場の相関係数をグラフ化したものである。下段点線はいわば「5カ年移動単純相関係数」とでも呼ぶべきもので、グラフ化に際しては、たとえば、1753（宝暦3）年から1757（宝暦7）年の5年間の相関係数を、その中央年である1755（宝暦5）年にドットするというふうな処理を、繰り返し行っている。

つぎに、上段点線は「5カ年移動残差相関係数」とでも呼ぶべきものである。

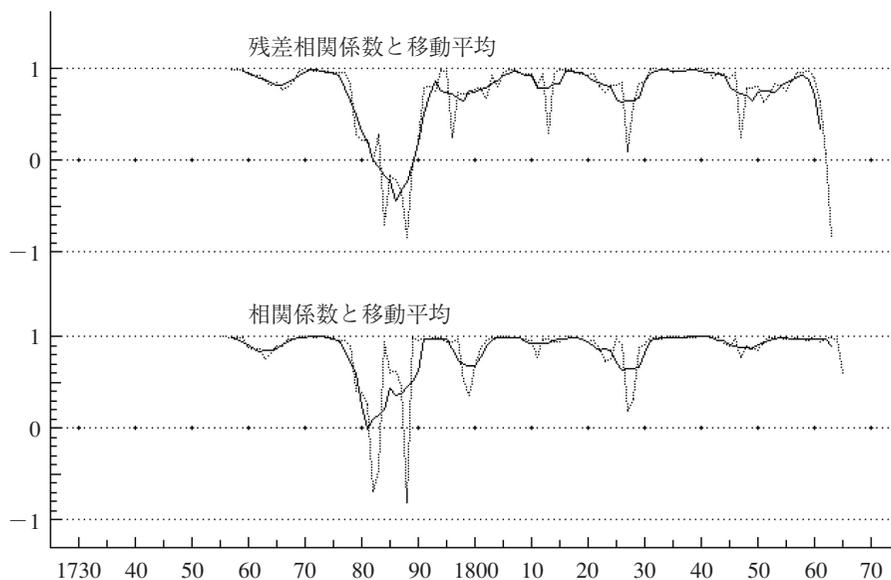
残差相関係数の計算過程はつぎの通りである。すなわち系列のそれぞれについて、まず、各年値マイナス5カ年移動平均値（すなわち残差）を算出し、しかるのち、これら残差系列間で相関をとっている。グラフ化に際しては、たとえば、1755（宝暦5）年から1759（宝暦9）年の5年間の残差相関係数を、その中央年である1757（宝暦7）年にドットするというふうな処理を、繰り返し行っている。

はじめの単純相関係数をもちいると、それぞれの系列がともに上昇趨勢、あるいは下降趨勢にあるような場合、短期的な相関を見だしにくいというようなことがありえよう。そこで、後者の残差相関係数をもちいることにすれば、原系列の趨勢に左右されない短期的な相関を見きわめることが可能になると考えられる。

下段上段いずれの場合も実線は、平滑化の目的で、「5カ年移動相関係数」のさらに5カ年移動平均をとったものをあらわしている。¹³⁾

さて、図4をもちいて、京都金相場と大坂金相場の時期ごとの相関の度合いを観察するこ

図4 京都、大坂金相場の相関係数



としたい。この場合、いま述べたように、原系列の趨勢に左右されない短期的な相関を見きわめたいという理由から、残差相関を中心に見ていくこととしたい。

全体として、京都と大坂の金相場はたいへん相関が大きい。もちろん両地が地理的に近いことが大きく影響していると思われる。

グラフ下段の単純系列の方が相関が大きいが、これは原系列の動向に引っ張られたもので、残差系列はそれほど相関が大きいわけではない。

残差系列を見ると、全体としてとりわけ1790年代以降は相関が強くなっている。相関が小さくなるのは1780年代において顕著で、これは先に見た京都／大坂比の系列からもうなずけるところである。ほかにも、1790年代後半、1810年代前半、1820年代後半、1840年代後半がやや相関が小さくなっている。

1860年代は大きく逆相関となっている。これは京都金相場の下落によるものである。

図4から観察されるように、京都金相場と大坂金相場の相関は、1850年代から幕末にかけて大きくくずれているのであるが、この場合も、貨幣改鑄に着目すると、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄などが、両地金相場の相関をくずす大きな原因であったと考えることができよう。

3 京都金相場と江戸金（銀）相場

本節では、先の新京都金相場の系列をもちいて、江戸金（銀）相場との比較を行うことと

したい。なお、京都は金相場と言い、江戸は銀相場と言うが、両者の単位はいずれも金1両につき銀匁であるから、呼称は違っていても内実は同じである。

江戸金相場の系列は、かつて新保博氏が整理作成されたものである¹⁴⁾。図5 A中段には、その各年値がグラフ化されている（金1両につき銀匁、半対数目盛）。また図5 B中段には、その5カ年移動平均値と波動の峰（○）と谷（●）が描き込まれている（金1両につき銀匁、半対数目盛）。

つぎに、図5 A下段には、京都金相場の各年値がグラフ化されている（金1両につき銀匁、半対数目盛、図2 A中段の再掲）。また図5 B下段には、その5カ年移動平均値と波動の峰（○）と谷（●）が描き込まれている（金1両につき銀匁、半対数目盛、図2 B中段の再掲）。

最後に図5 A上段には、江戸金相場／京都金相場比（単位1、普通目盛）がグラフ化されている。また、図5 B上段には、その5カ年移動平均値と波動の峰（○）と谷（●）が描き込まれている（単位1、普通目盛）。

さて、京都金相場の動きについては先に観察したので、ここでは江戸金相場の動向を追ってみる。

5カ年移動平均の系列によれば、1730年代から上昇しはじめた江戸金相場は、1746（延享3）年に峰に達し、その後、1752（宝暦2）年の谷に向かって下降した。ついで金相場は再び上昇をはじめ、1771（明和8）年に峰に達し、1788（天明8）年の谷に向かって下降した。そして、金相場は、1806（文化3）年の峰を経て、1820（文政3）年の谷へと下降している。

その後は、1820（文政3）年の谷から1827（文政10）年の峰を経て1838（天保9）年の谷に至るサイクル¹⁵⁾、ついで1838（天保9）年の谷から1845（弘化2）年の峰を経て1850（嘉永3）年の谷に至るサイクルの両者を観察することができる。しかし、1850（嘉永3）年の谷以降は、江戸金相場は一方的な上昇の傾向となっている¹⁶⁾。

つぎに、図5 A、図5 B上段の江戸金相場／京都金相場比を見ながらもうすこし詳しく観察してみると、江戸金相場／京都金相場比は、全期にわたって、ほぼ1.0の水準を中心にして小さく上下に動いていたことがわかる。しかし、この比は1860年代になるとやや動きが大きくなっている。

また、江戸金相場／京都金相場比は、全期にわたって、わずかではあるが1.0を超えることが多かった。したがって、金相場は、少しだけ江戸の方が高かったと言えよう。言い換えれば、銀遣い圏京都でやや銀高、金遣い圏江戸でやや金高になっていたということである¹⁷⁾。

さらに、図5 Bを見て気づくことは、化政期以前においては、京都金相場と江戸金相場の峰および谷は一致しない場合も多いけれどもおおむね連動している。しかるに化政期以降になると、峰および谷はほぼ完全に一致するようになったので、化政期以降、両者の連動の度合いは強まっていると考えられよう。

図5A 京都と江戸の金相場

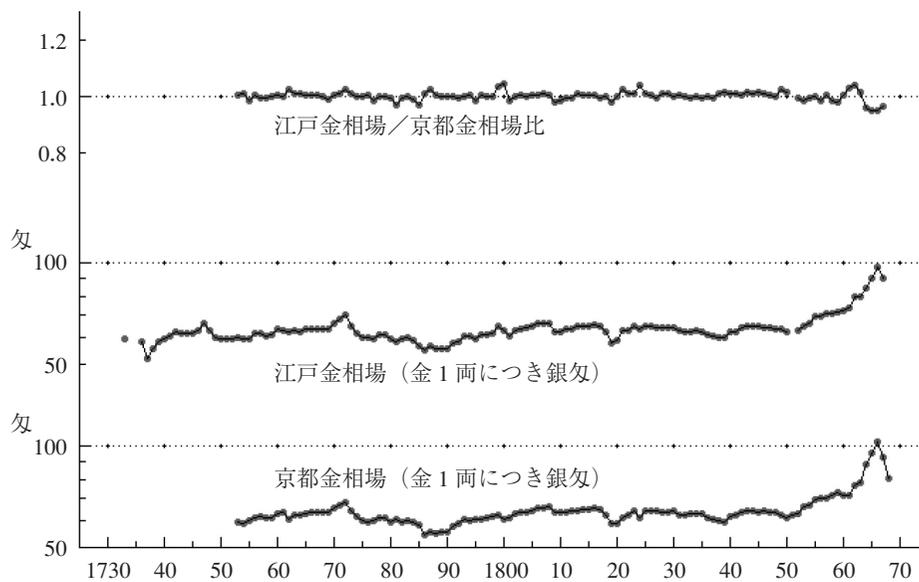
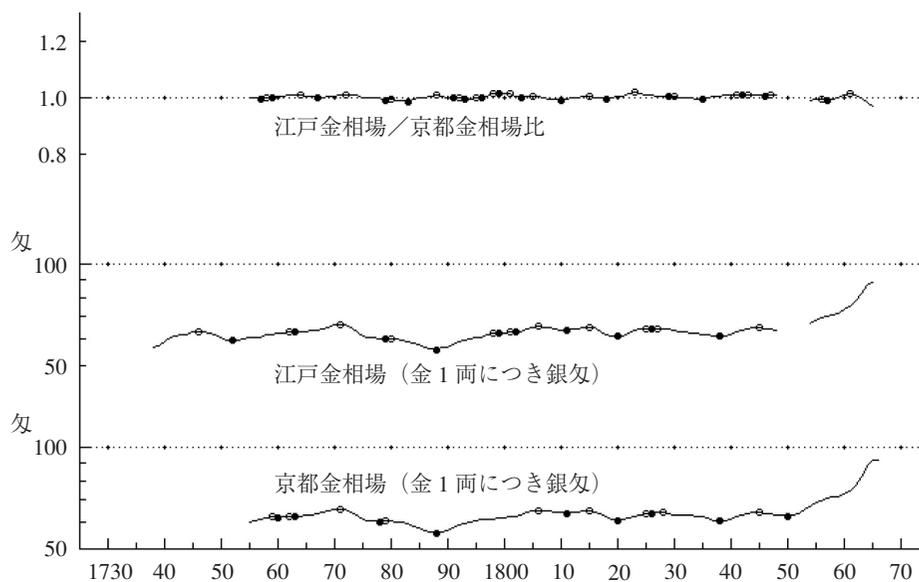


図5B 同上5ヵ年移動平均と峰および谷



先に述べたように、図2 A中段（図5 A下段に同じ）の京都金相場の変動は、基本的に大坂のそれと同じように推移していた。一方で、大坂金相場と江戸金相場も、ほとんど同じように動いた。¹⁸⁾したがって、図5 A、図5 Bに見られるように、京都金相場は、江戸金相場とほぼ平行に動いたのも不思議はない。

旧稿でも述べたように、大坂金相場と江戸金相場が、ほとんど同じように動いたのは、両地金相場を連動させるなんらかのメカニズムが働いていたと考えられよう。たとえば、両地の相場に大きな開差が生じた場合には、相場差益をもとめてただちに現送または為替による資金移動が行われ、その結果開差は縮小し、両地の相場はほぼ均衡するようになったと考えることができよう。¹⁹⁾

京都金相場と、江戸金相場がほぼ平行に動いたのも、このような大坂、江戸間の為替平準化の機能が京都にもおよんだものと考えられる。

また、京都、江戸両地の金相場は、全体として見れば、銀遣い圏京都でやや銀高、金遣い圏江戸でやや金高になっていたのであるが、幕末期になると、銀遣い圏京都で銀安金高が、江戸以上に急速に進んだ。この点は、この段階にいたって、大坂金相場が銀目信用手段（銀札・銀目手形）と計数貨幣（小判など）の交換比率となり、大坂金相場が急速に上昇し、このことが地理的に近い京都にも、かなりの程度影響を与えたものと解釈することができよう。

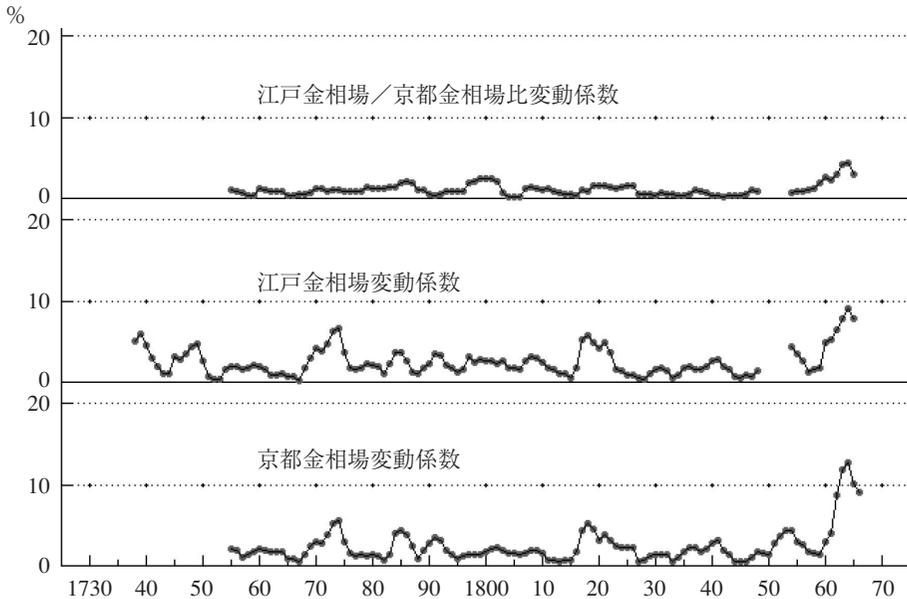
つぎに、京都金相場の変動の激しさを、江戸金相場のそれとの対比で検討することとした。図6の変動係数のグラフは、この目的のために作成したものである。統計処理は、先の図3の場合とまったく同じである。下段には京都金相場（図3中段の再掲）、中段には江戸金相場、上段には江戸金相場／京都金相場比のそれぞれ5年期ごとの変動係数が図示されている。

グラフの観察に移ると、まず京都金相場、江戸金相場とも変動のパターンは類似している。すなわち、金相場が安定的である時期および不安定である時期は、両地でさほど異ならないと言える。両地とも、1770年代前半、1820年前後、1850、60年代の時期は、金相場の変動が大きくなっている。もっとも、1860年代には、江戸に比べて京都の金相場変動が顕著になっている。

また、京都金相場と江戸金相場の変動係数を比べてみると、幕末期を別とすれば、おおむね江戸の変動係数の方が、京都のそれよりも大きいようである。とくに、1770年代前半、1792～1822年の30年間ぐらひは、江戸の変動係数が京都を上回っている。

図6上段には、江戸金相場／京都金相場比の「5ヵ年移動変動係数」がグラフ化されているが、この系列は、幕末期を別とすれば非常に安定的である。もっとも、1780年代、1800年前後、1810年前後、1820年前後は、やや変動が大きくなっているようである。しかし、これとして江戸／大坂比に比べると変動係数はかなり小さい。²⁰⁾

図6 京都、江戸金相場の変動係数



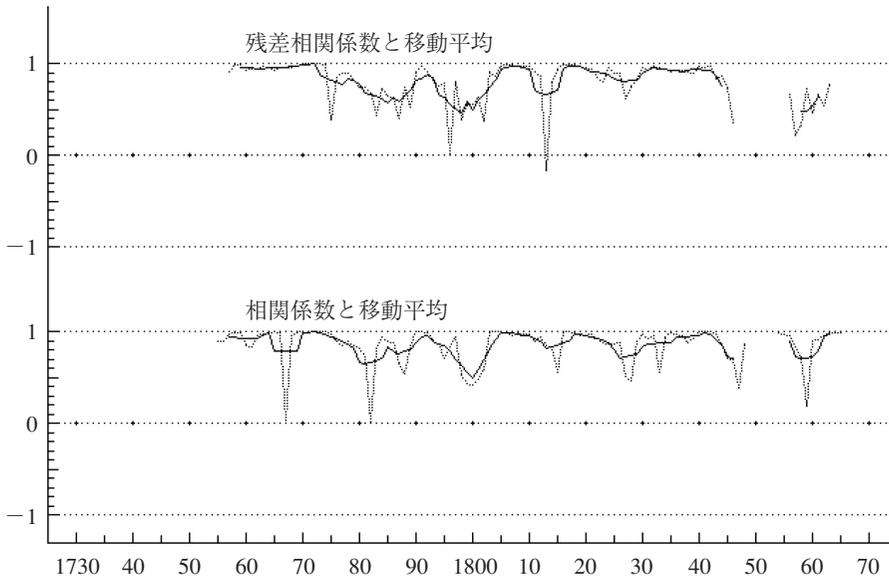
いま見たように、京都金相場、江戸金相場とも金相場が安定的である時期および不安定である時期は、両地でさほど異ならない。両地とも、1770年代前半、1820年前後、1850、60年代の時期は、金相場の変動が大きくなっている。これらの時期については、貨幣改鑄の要因が大きく、1772（安永元）年の南鑲二朱銀の新鑄、1818（文政元）年から始まった文政改鑄、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄などが、両地の金相場の変動係数を大きくしたと思われる。

また、両地金相場の変動係数の大きさを比較してみると、いま見たように、おおむね江戸の変動係数の方が、京都のそれよりも大きかったようである。これは、まず大坂において、銀目信用を拡大・縮小することによって、金相場を安定化させることが可能で、結果として大坂金相場の変動係数は、江戸よりも小さくなったと思われる。このことが、大坂と地理的に近い京都にも影響して、京都金相場の変動係数は江戸のそれよりも小さくなったと考えることができよう。

しかし、1860年代には、江戸に比べて京都の金相場変動が顕著になっている。この点は、この段階にいたって、大坂金相場が銀目信用手段（銀札・銀目手形）と計数貨幣（小判など）の交換比率となって、大坂金相場が急速に上昇し、その変動係数を大きくしたことが、地理的に近い京都金相場の変動にも大きく影響したと思われる。

つぎに、図7は、京都金相場と江戸金相場の相関係数をグラフ化したものである。統計処

図7 京都, 江戸金相場の相関係数



理は、図4の場合とまったく同じである。下段点線はいわば「5カ年移動単純相関係数」とでも呼ぶべきもので、また上段点線は「5カ年移動残差相関係数」とでも呼ぶべきものである。下段上段いずれの場合も実線は（平滑化の目的で）「5カ年移動相関係数」のさらに5カ年移動平均をとったものをあらわしている。

図7の観察についても、原系列の趨勢に左右されない短期的な相関を見きわめたいという理由から、残差相関の系列を中心にみていくこととしたい。

さて、驚くべきことに京都と江戸の金相場は全期を通じて非常に強く相関している。残差相関係数の移動平均系列を見ると相関係数が0.5以下になることはほとんどない。

また、時期的には、1820（文政3）年以降になってさらに相関が強まっていることがわかる。

京都と大坂も相関が強いが、京都と江戸の相関の強さはそれ以上である。以前に分析したように江戸と大坂の相関もさほど大きくはなかつた。²¹⁾

いま見たように、京都金相場と江戸金相場の残差相関系列を見ると、両者は強い正相関を示している。しかし、1860年前後になるとこの相関はかなり小さくなっている。この場合も、貨幣改鑄に着目すると、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄などが、両地金（銀）相場の相関をくずす大きな原因であったと言ってよいであろう。

おわりに

ここでは、近世後期における大坂や江戸との比較から見た京都金相場の変動について、本稿で明らかになったところを簡単に要約しておくこととしたい。

まず金相場の京都／大坂比は、幕末期に大きく下降し、京都金相場に比べ大坂金相場の方が急速に上昇した。これは、通常指摘されるように、幕末期になると、大坂金相場が銀目信用手段（銀札・銀目手形）と計数貨幣（小判など）との交換比率になって、大坂金相場が急速に上昇（銀安金高）したことが影響していると考えられよう。

先に見たように、1860年代以降になると、京都金相場の変動係数は、大坂金相場ほどではないにせよ大きくなっている。これは、大坂金相場や江戸金相場の場合と同様、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄が、京都金相場変動係数の急激な増大に大きくかかわったと思われる。

また、京都金相場と大坂金相場の相関は、1850年代から幕末にかけて大きくくずれているのであるが、この場合も、貨幣改鑄に着目すると、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄などが、両地金相場の相関をくずす大きな原因であったと考えることができよう。

つぎに、京都金相場と江戸金相場を比較すると、両者はほぼ平行に動いたのであるが、これは、大坂、江戸間の為替平準化の機能が京都にもおよんだものと考えられる。また、京都、江戸両地の金相場は、全体として見れば、銀遣い圏京都でやや銀高、金遣い圏江戸でやや金高になっていたのであるが、幕末期になると、銀遣い圏京都で銀安金高が、江戸以上に急速に進んだ。この点は、この段階にいたって、大坂金相場が銀目信用手段と計数貨幣の交換比率となり、大坂金相場が急速に上昇し、このことが地理的に近い京都にも、かなりの程度影響を与えたものと解釈することができよう。

変動係数の分析によると、京都金相場、江戸金相場とも金相場が安定的である時期および不安定である時期は、両地でさほど異ならない。両地とも、1770年代前半、1820年前後、1850、60年代の時期は、金相場の変動が大きくなっている。これらの時期については、貨幣改鑄の要因が大きく、1772（安永元）年の南鐐二朱銀の新鑄、1818（文政元）年から始まった文政改鑄、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄などが、両地の金相場の変動係数を大きくしたと思われる。

また、両地金相場の変動係数の大きさを比較してみると、おおむね江戸の変動係数の方が、京都のそれよりも大きかったようである。これは、まず大坂において、銀目信用を拡大・縮小することによって、金相場を安定化させることが可能で、結果として大坂金相場の変動係数は、江戸よりも小さくなったと思われる。このことが、大坂と地理的に近い京都にも影響

して、京都金相場の変動係数は江戸のそれよりも小さくなったと考えることができよう。

しかし、1860年代には、江戸に比べて京都の金相場変動が顕著になっている。この点は、この段階にいたって、大坂金相場が銀目信用手段と計数貨幣の交換比率となって、大坂金相場が急速に上昇し、その変動係数を大きくしたことが、地理的に近い京都金相場の変動にも大きく影響したと思われる。

最後に、京都金相場と江戸金相場の残差相関係列を見ると、両者は強い正相関を示している。残差相関係数の移動平均系列を見ると相関係数が0.5以下になることはほとんどないのである。

しかし、1860年前後になるとこの相関はかなり小さくなっている。この場合も、貨幣改鑄に着目すると、1859（安政6）年の安政改鑄、1860（万延元）年の万延改鑄などが、両地金（銀）相場の相関をくずす大きな原因であったと言ってよいであろう。

繰り返し述べたように、京都は地理的に大坂に近く、金相場の変動パターンは大坂のそれと大差ないものと思われがちである。それに対して、江戸金相場の動きは、アプリアリには京阪のそれとはかなり異なっていたと思われるかもしれない。しかし、本稿で明らかとなったところでは、驚くべきことに、金相場の変動パターン、とくに地域ごとの相関は、京都と江戸で密接に関連しており、大坂は相当程度独自の動きを示していたのである。

付表 1 (その 1) 二つの京都金相場

年 次	旧京都 金相場	新京都金相場			大坂 金相場	旧京都/ 大坂金 相場比	新京都/ 大坂金 相場比
		最 高	最 低	平 均			
1733 (享保18)					60.10		
34 (19)							
35 (20)							
1736 (元文 1)					52.90		
37 (2)					53.50		
38 (3)							
39 (4)							
40 (5)							
1741 (寛保 1)							
42 (2)					62.20		
43 (3)							
44 (延享 1)					60.00		
45 (2)					62.00		
1746 (3)					62.96		
47 (4)					63.64		
48 (寛延 1)							
49 (2)							
50 (3)					58.72		
1751 (宝暦 1)					59.49		
52 (2)					60.06		
53 (3)		60.100	58.750	59.425	59.43		
54 (4)		59.360	58.390	58.875	59.00		
55 (5)		61.530	58.910	60.220	60.19		
1756 (6)		62.450	60.580	61.515	61.70		
57 (7)		62.460	61.330	61.895	61.76		
58 (8)		61.650	60.680	61.165	61.15		
59 (9)		62.090	60.800	61.445	61.51		
60 (10)		64.990	61.800	63.395	63.49		
1761 (11)		65.080	61.750	63.415	63.92		
62 (12)		62.950	58.450	60.700	62.20		
63 (13)		63.770	61.100	62.435	62.52		
64 (明和 1)		62.990	61.460	62.225	62.40		
65 (2)		63.770	62.500	63.135	62.75		
1766 (3)		64.080	62.930	63.505	63.57		

付表1 (その2) 二つの京都金相場

年次	旧京都 金相場	新京都金相場			大坂 金相場	旧京都/ 大坂金 相場比	新京都/ 大坂金 相場比
		最 高	最 低	平 均			
1767 (明和 4)		63.920	63.000	63.460	63.10		
68 (5)		64.500	62.860	63.680	63.80		
69 (6)		64.600	63.400	64.000	64.21		
70 (7)		66.950	64.290	65.620	65.65		
1771 (8)		68.770	65.550	67.160	66.92		
72 (安永 1)		71.020	65.370	68.195	67.65		
73 (2)		66.690	61.600	64.145	64.33		
74 (3)		63.430	60.300	61.865	61.24		
75 (4)		63.340	57.420	60.380	59.69		
1776 (5)		61.150	57.990	59.570	59.33		
77 (6)		60.940	59.360	60.150	60.14		
78 (7)		62.580	59.850	61.215	61.15		
79 (8)		62.420	60.420	61.420	61.53		
80 (9)		61.270	58.000	59.635	60.43		
1781 (天明 1)		62.200	58.670	60.435	57.40		
82 (2)		60.390	59.000	59.695	59.93		
83 (3)		60.900	59.680	60.290	60.25		
84 (4)		60.500	59.030	59.765	59.99		
85 (5)		59.700	56.950	58.325	60.00		
1786 (6)		58.700	50.600	54.650	59.40		
87 (7)		57.500	53.620	55.560	55.40		
88 (8)		57.000	53.600	55.300	55.30		
89 (寛政 1)		56.750	54.810	55.780	55.77		
90 (2)		56.610	55.180	55.895	55.95		
1791 (3)		59.880	56.130	58.005	57.00		
92 (4)		59.990	57.630	58.810	58.76		
93 (5)		62.110	59.010	60.560	60.66		
94 (6)		60.910	59.540	60.225	60.16		
95 (7)		60.870	60.170	60.520	60.68		
1796 (8)		61.440	60.410	60.925	60.68		
97 (9)		62.040	60.920	61.480	61.46		
98 (10)		62.750	61.520	62.135	61.54		
99 (11)		63.150	62.300	62.725	62.09		
1800 (12)		64.210	57.000	60.605	61.82		

付表 1 (その 3) 二つの京都金相場

年 次	旧京都 金相場	新京都金相場			大坂 金相場	旧京都/ 大坂金 相場比	新京都/ 大坂金 相場比
		最 高	最 低	平 均			
1801 (享和 1)		62.900	59.800	61.350	61.59		
02 (2)		63.900	62.400	63.150	62.90		
03 (3)		63.930	63.200	63.565	63.50		
04 (文化 1)		64.200	63.650	63.925	63.95		
05 (2)		65.330	63.810	64.570	64.83		
1806 (3)		66.800	64.700	65.750	65.79		
07 (4)		66.800	64.700	65.750	65.85		
08 (5)		66.660	65.400	66.030	66.21		
09 (6)		66.100	61.400	63.750	64.48		
10 (7)		64.300	62.600	63.450	63.59		
1811 (8)		64.360	63.640	64.000	64.01		
12 (9)		64.590	63.980	64.285	64.35		
13 (10)		65.240	63.600	64.420	64.76		
14 (11)		65.100	64.190	64.645	64.71		
15 (12)		65.360	64.500	64.930	65.25		
1816 (13)		65.800	65.020	65.410	65.44		
17 (14)		65.570	64.900	65.235	65.38		
18 (文政 1)		65.355	60.000	62.678	62.65		
19 (2)		62.845	54.800	58.823	60.00		
20 (3)		61.500	56.100	58.800	58.64		
1821 (4)		63.500	59.360	61.430	60.87		
22 (5)		63.430	61.300	62.365	62.47		
23 (6)		65.475	62.850	64.163	64.15		
24 (7)		65.350	57.000	61.175	63.40		
25 (8)		65.130	63.600	64.365	64.32		
1826 (9)		64.760	63.970	64.365	64.37		
27 (10)		64.850	64.160	64.505	64.58		
28 (11)		64.980	62.200	63.590	64.58		
29 (12)		64.950	62.800	63.875	63.88		
30 (天保 1)	64.46	64.765	64.210	64.488	64.58	0.998	0.999
1831 (2)	63.48	64.290	60.910	62.600	62.60	1.014	1.000
32 (3)	62.61	63.890	60.700	62.295	62.54	1.001	0.996
33 (4)	63.14	63.670	62.420	63.045	63.05	1.001	1.000
34 (5)	64.43	64.100	62.320	63.210	63.21	1.019	1.000
35 (6)	63.45	64.050	61.870	62.960	62.96	1.008	1.000

付表1 (その4) 二つの京都金相場

年次	旧京都 金相場	新京都金相場			大坂 金相場	旧京都/ 大坂金 相場比	新京都/ 大坂金 相場比
		最 高	最 低	平 均			
1836 (天保 7)	61.20	63.000	60.100	61.550	61.47	0.996	1.001
37 (8)	60.44	63.050	58.530	60.790	60.34	1.002	1.007
38 (9)	59.74	62.500	57.180	59.840	59.67	1.001	1.003
39 (10)	59.49	60.900	57.840	59.370	59.37	1.002	1.000
40 (11)	61.84	62.980	60.740	61.860	61.76	1.001	1.002
1841 (12)	62.10	62.690	61.720	62.205	62.25	0.998	0.999
42 (13)	63.81	64.950	62.260	63.605	63.74	1.001	0.998
43 (14)	64.49	65.330	63.250	64.290	64.65	0.998	0.994
44 (弘化 1)	64.55	65.500	63.600	64.550	64.50	1.001	1.001
45 (2)	63.84	64.070	63.400	63.735	63.85	1.000	0.998
1846 (3)	63.82	64.390	63.650	64.020	64.08	0.996	0.999
47 (4)	63.84	64.120	63.750	63.935	63.91	0.999	1.000
48 (嘉永 1)	63.78	63.910	63.600	63.755	63.70	1.001	1.001
49 (2)	63.58	63.775	61.150	62.463	63.62	0.999	0.982
50 (3)	61.68	62.750	60.100	61.425	61.57	1.002	0.998
1851 (4)	63.03	63.690	61.690	62.690	62.81	1.004	0.998
52 (5)	63.31	64.190	61.900	63.045	63.31	1.000	0.996
53 (6)	64.55	69.600	62.740	66.170	65.39	0.987	1.012
54 (安政 1)	67.15	69.000	64.300	66.650	67.12	1.000	0.993
55 (2)	68.68	71.890	67.660	69.775	69.49	0.988	1.004
1856 (3)	70.10	71.650	68.800	70.225	70.14	0.999	1.001
57 (4)	71.15	71.970	68.740	70.355	70.83	1.005	0.993
58 (5)	71.42	72.900	70.190	71.545	72.49	0.985	0.987
59 (6)	72.26	78.150	67.780	72.965	73.77	0.980	0.989
60 (万延 1)	71.56	75.900	67.930	71.915	73.36	0.975	0.980
1861 (文久 1)	72.29	73.300	69.500	71.400	72.45	0.998	0.986
62 (2)	73.20	84.300	69.130	76.715	77.23	0.948	0.993
63 (3)	78.61	83.780	72.400	78.090	83.27	0.944	0.938
64 (元治 1)	86.02	97.200	79.120	88.160	91.00	0.945	0.969
65 (慶応 1)	95.06	103.700	87.400	95.550	98.22	0.968	0.973
1866 (2)	100.62	113.000	93.050	103.025	116.21	0.866	0.887
67 (3)	90.84	107.100	79.700	93.400	139.31	0.652	0.670
68 (明治 1)		101.000	60.150	80.575			

(出所) 旧京都金相場は宮本又郎「幕末明治初期京都の物価変動について」。新京都金相場は『新稿両替年代記關鍵(巻二考證篇)』。大坂金相場は、新保博『近世の物価と経済発展』。

付表 2 (その 1) 京都金相場の動向 (対大坂金相場)

年 次	京都金相場 (金 1 両につき銀匁)			大坂金相場 (金 1 両につき銀匁)			京都金相場/ 大坂金相場			京都金相場と大坂金相場の 「5 カ年移動相関係数」					
	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	単純 相関 係数	5 カ年 移動 平均	京都 金相場 残差	大坂 金相場 残差	残差 相関 係数	5 カ年 移動 平均
1733 (享保18)				60.10											
34 (19)															
35 (20)															
1736 (元文 1)				52.90											
37 (2)				53.50											
38 (3)															
39 (4)															
40 (5)															
1741 (寛保 1)															
42 (2)				62.20											
43 (3)															
44 (延享 1)				60.00											
45 (2)				62.00											
1746 (3)				62.96											
47 (4)				63.64											
48 (寛延 1)															
49 (2)															
50 (3)				58.72											
1751 (宝暦 1)				59.49											
52 (2)				60.06	59.34	0.86							0.72		
53 (3)	59.425			59.43	59.63	0.82	1.000						-0.20		
54 (4)	58.875			59.00	60.08	1.71	0.998						-1.08		
55 (5)	60.220	60.39	2.16	60.19	60.42	2.11	1.001	0.999	0.208	1.00		-0.17	-0.23		
1756 (6)	61.515	60.73	1.99	61.70	60.76	1.92	0.997	1.000	0.210	0.99		0.78	0.94		
57 (7)	61.895	61.25	1.03	61.76	61.26	1.05	1.002	1.000	0.193	0.98	0.99	0.65	0.50	0.99	
58 (8)	61.165	61.88	1.43	61.15	61.92	1.47	1.000	0.999	0.195	0.99	0.97	-0.72	-0.77	0.98	
59 (9)	61.445	62.26	1.73	61.51	62.37	2.01	0.999	0.998	0.381	0.99	0.94	-0.82	-0.86	0.99	0.97
60 (10)	63.395	62.02	2.08	63.49	62.45	1.94	0.999	0.993	1.022	0.87	0.92	1.37	1.04	0.94	0.95
1761 (11)	63.415	62.28	1.93	63.92	62.73	1.56	0.992	0.993	0.996	0.86	0.87	1.14	1.19	0.93	0.93
62 (12)	60.700	62.43	1.78	62.20	62.91	1.20	0.976	0.992	0.972	0.86	0.83	-1.73	-0.71	0.92	0.89
63 (13)	62.435	62.38	1.70	62.52	62.76	1.08	0.999	0.994	1.137	0.76	0.84	0.05	-0.24	0.86	0.88
64 (明和 1)	62.225	62.40	1.73	62.40	62.69	0.85	0.997	0.995	1.148	0.82	0.85	-0.18	-0.29	0.81	0.85
65 (2)	63.135	62.95	0.94	62.75	62.87	0.75	1.006	1.001	0.424	0.90	0.87	0.18	-0.12	0.85	0.82
1766 (3)	63.505	63.20	0.92	63.57	63.12	0.91	0.999	1.001	0.433	0.89	0.91	0.30	0.45	0.77	0.82

付表2 (その2) 京都金相場の動向 (対大坂金相場)

年次	京都金相場 (金1両につき銀匁)			大坂金相場 (金1両につき銀匁)			京都金相場/ 大坂金相場			京都金相場と大坂金相場の 「5カ年移動相関係数」					
	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	単純 相関 係数	5カ年 移動 平均	京都 金相場 残差	大坂 金相場 残差	残差 相関 係数	5カ年 移動 平均
1767 (明和 4)	63.460	63.56	0.50	63.10	63.49	0.91	1.006	1.001	0.444	0.97	0.94	-0.10	-0.39	0.81	0.85
68 (5)	63.680	64.05	1.41	63.80	64.07	1.52	0.998	1.000	0.346	0.98	0.96	-0.37	-0.27	0.86	0.88
69 (6)	64.000	64.78	2.43	64.21	64.74	2.37	0.997	1.001	0.378	0.99	0.99	-0.78	-0.53	0.97	0.92
70 (7)	65.620	65.73	2.98	65.65	65.65	2.54	1.000	1.001	0.460	1.00	0.99	-0.11	0.00	1.00	0.96
1771 (8)	67.160	65.82	2.80	66.92	65.75	2.33	1.004	1.001	0.479	1.00	0.99	1.34	1.17	0.99	0.98
72 (安永 1)	68.195	65.40	3.83	67.65	65.16	3.88	1.008	1.004	0.550	0.99	1.00	2.80	2.49	0.97	0.98
73 (2)	64.145	64.35	5.19	64.33	63.97	5.42	0.997	1.006	0.582	1.00	0.99	-0.20	0.36	0.97	0.97
74 (3)	61.865	62.83	5.52	61.24	62.45	5.63	1.010	1.006	0.578	0.99	0.98	-0.97	-1.21	0.97	0.96
75 (4)	60.380	61.22	3.01	59.69	60.95	3.32	1.012	1.005	0.621	0.99	0.97	-0.84	-1.26	0.93	0.96
1776 (5)	59.570	60.64	1.49	59.33	60.31	1.42	1.004	1.005	0.519	0.94	0.95	-1.07	-0.98	0.95	0.93
77 (6)	60.150	60.55	1.27	60.14	60.37	1.56	1.000	1.003	0.521	0.95	0.83	-0.40	-0.23	0.95	0.79
78 (7)	61.215	60.40	1.44	61.15	60.52	1.43	1.001	0.998	0.663	0.89	0.71	0.82	0.63	0.83	0.65
79 (8)	61.420	60.57	1.23	61.53	60.13	2.70	0.998	1.008	2.562	0.40	0.58	0.85	1.40	0.27	0.50
80 (9)	59.635	60.48	1.37	60.43	60.09	2.71	0.987	1.007	2.600	0.39	0.25	-0.85	0.34	0.22	0.30
1781 (天明 1)	60.435	60.30	1.20	57.40	59.91	2.55	1.053	1.007	2.603	0.25	-0.02	0.14	-2.51	0.21	0.19
82 (2)	59.695	59.96	0.62	59.93	59.60	2.09	0.996	1.007	2.621	-0.68	0.09	-0.27	0.33	-0.01	-0.00
83 (3)	60.290	59.70	1.40	60.25	59.51	2.00	1.001	1.004	2.964	-0.44	0.13	0.59	0.74	0.27	-0.08
84 (4)	59.765	58.55	3.92	59.99	59.91	0.52	0.996	0.977	3.457	0.93	0.20	1.22	0.08	-0.71	-0.16
85 (5)	58.325	57.72	4.35	60.00	59.01	3.46	0.972	0.978	3.563	0.60	0.43	0.61	0.99	-0.17	-0.23
1786 (6)	54.650	56.72	3.89	59.40	58.02	4.22	0.920	0.978	3.553	0.61	0.36	-2.07	1.38	-0.22	-0.45
87 (7)	55.560	55.92	2.52	55.40	57.17	4.06	1.003	0.979	3.606	0.46	0.37	-0.36	-1.77	-0.32	-0.32
88 (8)	55.300	55.44	0.89	55.30	56.36	3.05	1.000	0.984	3.659	-0.81	0.44	-0.14	-1.06	-0.85	-0.24
89 (寛政 1)	55.780	56.11	1.93	55.77	55.88	1.21	1.000	1.004	0.776	0.98	0.51	-0.33	-0.11	-0.03	-0.04
90 (2)	55.895	56.76	2.73	55.95	56.56	2.44	0.999	1.004	0.788	0.96	0.62	-0.86	-0.61	0.20	0.18
1791 (3)	58.005	57.81	3.50	57.00	57.63	3.59	1.018	1.003	0.810	0.97	0.97	0.19	-0.63	0.79	0.50
92 (4)	58.810	58.70	3.20	58.76	58.51	3.44	1.001	1.003	0.802	0.97	0.98	0.11	0.25	0.80	0.70
93 (5)	60.560	59.62	1.93	60.66	59.45	2.65	0.998	1.003	0.828	0.99	0.97	0.94	1.21	0.76	0.86
94 (6)	60.225	60.21	1.36	60.16	60.19	1.38	1.001	1.000	0.261	0.98	0.97	0.02	-0.03	0.98	0.75
95 (7)	60.520	60.74	0.79	60.68	60.73	0.77	0.997	1.000	0.260	0.95	0.96	-0.22	-0.05	0.97	0.74
1796 (8)	60.925	61.06	1.25	60.68	60.90	0.96	1.004	1.003	0.465	0.94	0.87	-0.13	-0.22	0.24	0.73
97 (9)	61.480	61.56	1.45	61.46	61.29	0.99	1.000	1.004	0.563	0.96	0.74	-0.08	0.17	0.74	0.68
98 (10)	62.135	61.57	1.41	61.54	61.52	0.86	1.010	1.001	1.220	0.50	0.69	0.56	0.02	0.73	0.64
99 (11)	62.725	61.66	1.31	62.09	61.70	0.41	1.010	0.999	1.223	0.35	0.67	1.07	0.39	0.73	0.75
1800 (12)	60.605	61.99	1.66	61.82	61.99	0.89	0.980	1.000	1.240	0.68	0.67	-1.39	-0.17	0.77	0.74

付表 2 (その 3) 京都金相場の動向 (対大坂金相場)

年次	京都金相場 (金 1 両につき銀匁)			大坂金相場 (金 1 両につき銀匁)			京都金相場/ 大坂金相場			京都金相場と大坂金相場の 「5 年移動相関係数」					
	各年値	5 年 移動 平均	5 年 移動変 動係数	各年値	5 年 移動 平均	5 年 移動変 動係数	各年値	5 年 移動 平均	5 年 移動変 動係数	単純 相関 係数	5 年 移動 平均	京都 金相場 残差	大坂 金相場 残差	残差 相関 係数	5 年 移動 平均
1801 (享和 1)	61.350	62.28	2.01	61.59	62.38	1.28	0.996	0.998	1.130	0.86	0.77	-0.93	-0.79	0.78	0.77
02 (2)	63.150	62.52	2.33	62.90	62.75	1.64	1.004	0.996	0.935	0.95	0.89	0.63	0.15	0.67	0.79
03 (3)	63.565	63.31	1.92	63.50	63.35	1.91	1.001	0.999	0.340	0.98	0.96	0.25	0.15	0.92	0.83
04 (文化 1)	63.925	64.19	1.58	63.95	64.19	1.77	1.000	1.000	0.289	0.99	0.98	-0.27	-0.24	0.81	0.87
05 (2)	64.570	64.71	1.57	64.83	64.78	1.64	0.996	0.999	0.187	0.99	0.99	-0.14	0.05	0.96	0.93
1806 (3)	65.750	65.21	1.40	65.79	65.33	1.41	0.999	0.998	0.152	0.99	0.99	0.54	0.46	0.98	0.94
07 (4)	65.750	65.17	1.49	65.85	65.43	1.13	0.998	0.996	0.429	0.99	0.98	0.58	0.42	0.98	0.96
08 (5)	66.030	64.95	1.91	66.21	65.18	1.70	0.997	0.996	0.436	0.98	0.98	1.08	1.03	0.96	0.96
09 (6)	63.750	64.60	1.86	64.48	64.83	1.77	0.989	0.996	0.445	0.97	0.93	-0.85	-0.35	0.94	0.92
10 (7)	63.450	64.30	1.58	63.59	64.53	1.55	0.998	0.997	0.451	0.96	0.93	-0.85	-0.94	0.94	0.92
1811 (8)	64.000	63.98	0.62	64.01	64.24	0.70	1.000	0.996	0.455	0.77	0.93	0.02	-0.23	0.81	0.78
12 (9)	64.285	64.16	0.72	64.35	64.28	0.77	0.999	0.998	0.200	0.97	0.92	0.13	0.07	0.93	0.78
13 (10)	64.420	64.46	0.55	64.76	64.62	0.72	0.995	0.998	0.242	0.96	0.92	-0.04	0.14	0.29	0.79
14 (11)	64.645	64.74	0.69	64.71	64.90	0.68	0.999	0.997	0.235	0.94	0.96	-0.09	-0.19	0.94	0.83
15 (12)	64.930	64.93	0.63	65.25	65.11	0.53	0.995	0.997	0.221	0.94	0.97	0.00	0.14	0.99	0.84
1816 (13)	65.410	64.58	1.71	65.44	64.69	1.82	1.000	0.998	0.207	0.99	0.97	0.83	0.75	0.98	0.97
17 (14)	65.235	63.42	4.41	65.38	63.74	3.76	0.998	0.995	0.828	0.99	0.98	1.82	1.64	0.99	0.97
18 (文政 1)	62.678	62.19	5.25	62.65	62.42	4.94	1.000	0.996	0.904	0.99	0.98	0.49	0.23	0.96	0.96
19 (2)	58.823	61.39	4.44	60.00	61.51	4.24	0.980	0.998	1.079	0.97	0.97	-2.57	-1.51	0.94	0.95
20 (3)	58.800	60.82	3.11	58.64	60.93	2.78	1.003	0.998	1.079	0.94	0.95	-2.02	-2.29	0.92	0.91
1821 (4)	61.430	61.12	3.80	60.87	61.23	3.50	1.009	0.998	1.078	0.96	0.89	0.31	-0.36	0.94	0.87
22 (5)	62.365	61.59	3.17	62.47	61.91	3.55	0.998	0.995	1.744	0.87	0.85	0.78	0.56	0.81	0.84
23 (6)	64.163	62.70	2.39	64.15	63.04	2.25	1.000	0.995	1.725	0.73	0.86	1.46	1.11	0.74	0.82
24 (7)	61.175	63.29	2.29	63.40	63.74	1.27	0.965	0.993	1.574	0.76	0.84	-2.11	-0.34	0.82	0.81
25 (8)	64.365	63.71	2.24	64.32	64.16	0.71	1.001	0.993	1.578	0.97	0.71	0.65	0.16	0.81	0.66
1826 (9)	64.365	63.60	2.21	64.37	64.25	0.76	1.000	0.990	1.556	0.91	0.63	0.76	0.12	0.85	0.64
27 (10)	64.505	64.14	0.61	64.58	64.35	0.44	0.999	0.997	0.684	0.18	0.65	0.36	0.23	0.09	0.64
28 (11)	63.590	64.16	0.64	64.58	64.40	0.47	0.985	0.996	0.660	0.32	0.64	-0.57	0.18	0.62	0.65
29 (12)	63.875	63.81	1.23	63.88	64.04	1.35	1.000	0.996	0.661	0.87	0.66	0.06	-0.16	0.83	0.68
30 (天保 1)	64.488	63.37	1.43	64.58	63.64	1.59	0.999	0.996	0.647	0.91	0.82	1.12	0.94	0.86	0.86
1831 (2)	62.600	63.26	1.44	62.60	63.33	1.39	1.000	0.999	0.169	0.99	0.95	-0.66	-0.73	0.99	0.93
32 (3)	62.295	63.13	1.33	62.54	63.20	1.31	0.996	0.999	0.170	0.99	0.97	-0.83	-0.66	0.99	0.96
33 (4)	63.045	62.82	0.59	63.05	62.87	0.46	1.000	0.999	0.174	0.97	0.99	0.22	0.18	0.99	0.98
34 (5)	63.210	62.61	1.10	63.21	62.65	1.12	1.000	0.999	0.198	0.98	0.99	0.60	0.56	0.99	0.98
35 (6)	62.960	62.31	1.73	62.96	62.21	2.02	1.000	1.002	0.324	1.00	0.99	0.65	0.75	0.96	0.98

付表 3 (その 1) 京都金相場の動向 (対江戸金相場)

年 次	京都金相場 (金 1 両につき銀匁)			江戸金相場 (金 1 両につき銀匁)			江戸金相場/ 京都金相場			京都金相場と江戸金相場の 「5 カ年移動相関係数」						
	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	単純 相関 係数	5 カ年 移動 平均	京都 金相場 残差	江戸 金相場 残差	残差 相関 係数	5 カ年 移動 平均	
1733 (享保18)				59.45												
34 (19)																
35 (20)																
1736 (元文 1)				58.45												
37 (2)				52.20												
38 (3)				55.50	56.72	5.11							-1.22			
39 (4)				58.15	57.17	5.90							0.98			
40 (5)				59.30	59.22	4.44							0.08			
1741 (寛保 1)				60.70	60.45	2.88							0.25			
42 (2)				62.45	61.15	1.97							1.30			
43 (3)				61.65	61.68	1.03							-0.03			
44 (延享 1)				61.63	62.15	0.97							-0.52			
45 (2)				61.95	62.90	3.08							-0.95			
1746 (3)				63.05	63.20	2.86							-0.15			
47 (4)				66.20	62.94	3.41							3.26			
48 (寛延 1)				63.15	62.40	4.36							0.75			
49 (2)				60.35	61.75	4.71							-1.40			
50 (3)				59.25	60.45	2.58							-1.20			
1751 (宝暦 1)				59.78	59.79	0.65							-0.01			
52 (2)				59.73	59.63	0.41							0.10			
53 (3)	59.425			59.85	59.65	0.33	1.007						0.20			
54 (4)	58.875			59.53	60.03	1.56	1.011						-0.50			
55 (5)	60.220	60.39	2.16	59.38	60.41	1.88	0.986	1.000	0.998	0.89		-0.17	-1.03			
1756 (6)	61.515	60.73	1.99	61.68	60.63	1.83	1.003	0.998	0.932	0.89		0.78	1.05			
57 (7)	61.895	61.25	1.03	61.60	60.99	1.55	0.995	0.996	0.612	0.97	0.94	0.65	0.61	0.92		
58 (8)	61.165	61.88	1.43	60.95	61.85	1.73	0.996	0.999	0.411	0.98	0.93	-0.72	-0.90	0.99		
59 (9)	61.445	62.26	1.73	61.33	62.18	2.00	0.998	0.999	0.370	0.99	0.92	-0.82	-0.85	0.98	0.95	
60 (10)	63.395	62.02	2.08	63.70	62.30	1.93	1.005	1.005	1.165	0.84	0.92	1.37	1.40	0.93	0.95	
1761 (11)	63.415	62.28	1.93	63.33	62.71	1.51	0.999	1.007	1.076	0.84	0.92	1.14	0.62	0.94	0.95	
62 (12)	60.700	62.43	1.78	62.20	62.99	0.91	1.025	1.009	0.956	0.96	0.92	-1.73	-0.79	0.94	0.94	
63 (13)	62.435	62.38	1.70	62.98	62.94	0.81	1.009	1.009	0.949	0.97	0.95	0.05	0.04	0.97	0.94	
64 (明和 1)	62.225	62.40	1.73	62.73	63.02	0.96	1.008	1.010	0.834	0.98	0.98	-0.18	-0.29	0.95	0.95	
65 (2)	63.135	62.95	0.94	63.48	63.31	0.69	1.005	1.006	0.267	0.99	0.79	0.18	0.17	0.92	0.95	
1766 (3)	63.505	63.20	0.92	63.73	63.46	0.66	1.004	1.004	0.279	0.99	0.79	0.30	0.27	0.96	0.95	

付表3 (その2) 京都金相場の動向 (対江戸金相場)

年次	京都金相場 (金1両につき銀匁)			江戸金相場 (金1両につき銀匁)			江戸金相場/ 京都金相場			京都金相場と江戸金相場の 「5カ年移動相関係数」					
	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	単純 相関 係数	5カ年 移動 平均	京都 金相場 残差	江戸 金相場 残差	残差 相関 係数	5カ年 移動 平均
1767 (明和 4)	63.460	63.56	0.50	63.63	63.61	0.20	1.003	1.001	0.530	0.02	0.79	-0.10	0.02	0.96	0.95
68 (5)	63.680	64.05	1.41	63.73	64.12	1.67	1.001	1.001	0.547	0.95	0.79	-0.37	-0.39	0.95	0.97
69 (6)	64.000	64.78	2.43	63.48	64.96	3.02	0.992	1.003	0.723	0.99	0.79	-0.78	-1.48	0.97	0.97
70 (7)	65.620	65.73	2.98	66.03	66.23	4.20	1.006	1.007	1.281	0.99	0.98	-0.11	-0.20	0.99	0.98
1771 (8)	67.160	65.82	2.80	67.93	66.44	3.88	1.011	1.009	1.226	0.98	0.99	1.34	1.49	0.99	0.99
72 (安永 1)	68.195	65.40	3.83	70.00	66.14	4.63	1.026	1.011	0.933	0.99	0.99	2.80	3.86	1.00	0.99
73 (2)	64.145	64.35	5.19	64.78	64.99	6.21	1.010	1.010	1.088	1.00	0.99	-0.20	-0.21	1.00	0.87
74 (3)	61.865	62.83	5.52	61.95	63.40	6.54	1.001	1.009	1.086	1.00	0.97	-0.97	-1.45	0.98	0.84
75 (4)	60.380	61.22	3.01	60.28	61.26	3.59	0.998	1.000	0.952	0.97	0.94	-0.84	-0.98	0.39	0.82
1776 (5)	59.570	60.64	1.49	60.00	60.56	1.75	1.007	0.999	0.808	0.89	0.92	-1.07	-0.56	0.85	0.80
77 (6)	60.150	60.55	1.27	59.28	60.47	1.53	0.986	0.999	0.807	0.85	0.89	-0.40	-1.19	0.89	0.77
78 (7)	61.215	60.40	1.44	61.30	60.28	1.77	1.001	0.998	0.832	0.89	0.86	0.82	1.02	0.89	0.84
79 (8)	61.420	60.57	1.23	61.50	60.00	2.18	1.001	0.991	1.326	0.84	0.82	0.85	1.50	0.81	0.81
80 (9)	59.635	60.48	1.37	59.30	60.03	2.14	0.994	0.993	1.304	0.81	0.66	-0.85	-0.73	0.74	0.77
1781 (天明 1)	60.435	60.30	1.20	58.63	59.84	1.85	0.970	0.992	1.292	0.72	0.64	0.14	-1.21	0.73	0.68
82 (2)	59.695	59.96	0.62	59.43	59.36	1.04	0.996	0.990	1.194	0.02	0.66	-0.27	0.07	0.67	0.66
83 (3)	60.290	59.70	1.40	60.33	58.84	2.29	1.001	0.986	1.399	0.82	0.68	0.59	1.49	0.43	0.64
84 (4)	59.765	58.55	3.92	59.13	58.15	3.68	0.989	0.993	1.416	0.94	0.71	1.22	0.98	0.72	0.62
85 (5)	58.325	57.72	4.35	56.70	57.65	3.57	0.972	0.999	1.978	0.90	0.83	0.61	-0.95	0.64	0.56
1786 (6)	54.650	56.72	3.89	55.18	56.72	2.68	1.010	1.001	2.009	0.87	0.78	-2.07	-1.54	0.62	0.63
87 (7)	55.560	55.92	2.52	56.90	56.06	1.29	1.024	1.003	1.909	0.64	0.76	-0.36	0.84	0.40	0.59
88 (8)	55.300	55.44	0.89	55.70	55.89	1.12	1.007	1.008	0.984	0.54	0.78	-0.14	-0.19	0.75	0.64
89 (寛政 1)	55.780	56.11	1.93	55.82	56.45	1.73	1.001	1.006	1.051	0.84	0.80	-0.33	-0.63	0.53	0.71
90 (2)	55.895	56.76	2.73	55.85	56.75	2.34	0.999	1.000	0.495	0.99	0.87	-0.86	-0.90	0.91	0.81
1791 (3)	58.005	57.81	3.50	57.97	57.72	3.41	0.999	0.998	0.289	1.00	0.95	0.19	0.25	0.97	0.83
92 (4)	58.810	58.70	3.20	58.42	58.67	3.37	0.993	1.000	0.456	0.99	0.95	0.11	-0.25	0.91	0.87
93 (5)	60.560	59.62	1.93	60.52	59.41	2.01	0.999	0.996	0.855	0.90	0.89	0.94	1.11	0.81	0.85
94 (6)	60.225	60.21	1.36	60.60	60.03	1.78	1.006	0.997	0.899	0.87	0.86	0.02	0.57	0.76	0.66
95 (7)	60.520	60.74	0.79	59.52	60.65	1.24	0.983	0.999	0.881	0.71	0.85	-0.22	-1.13	0.78	0.64
1796 (8)	60.925	61.06	1.25	61.10	60.96	1.59	1.003	0.998	0.881	0.84	0.78	-0.13	0.14	0.02	0.55
97 (9)	61.480	61.56	1.45	61.52	61.83	3.21	1.001	1.004	1.895	0.94	0.69	-0.08	-0.31	0.80	0.51
98 (10)	62.135	61.57	1.41	62.07	62.58	2.48	0.999	1.016	2.111	0.53	0.63	0.56	-0.51	0.39	0.46
99 (11)	62.725	61.66	1.31	64.95	62.45	2.76	1.035	1.013	2.497	0.44	0.56	1.07	2.50	0.55	0.58
1800 (12)	60.605	61.99	1.66	63.25	62.79	2.65	1.044	1.013	2.492	0.42	0.49	-1.39	0.46	0.55	0.50

付表 3 (その 3) 京都金相場の動向 (対江戸金相場)

年 次	京都金相場 (金 1 両につき銀匁)			江戸金相場 (金 1 両につき銀匁)			江戸金相場/ 京都金相場			京都金相場と江戸金相場の 「5 カ年移動相関係数」					
	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	各年値	5 カ年 移動 平均	5 カ年 移動変 動係数	単純 相関 係数	5 カ年 移動 平均	京都 金相場 残差	江戸 金相場 残差	残差 相関 係数	5 カ年 移動 平均
1801 (享和 1)	61.350	62.28	2.01	60.45	63.12	2.62	0.985	1.014	2.442	0.48	0.58	-0.93	-2.67	0.63	0.60
02 (2)	63.150	62.52	2.33	63.22	62.94	2.28	1.001	1.007	2.158	0.58	0.70	0.63	0.28	0.37	0.66
03 (3)	63.565	63.31	1.92	63.75	63.26	2.66	1.003	0.999	0.781	1.00	0.81	0.25	0.49	0.90	0.75
04 (文化 1)	63.925	64.19	1.58	64.05	64.40	1.77	1.002	1.003	0.197	1.00	0.91	-0.27	-0.35	0.86	0.81
05 (2)	64.570	64.71	1.57	64.85	65.01	1.79	1.004	1.005	0.239	1.00	0.99	-0.14	-0.16	0.97	0.94
1806 (3)	65.750	65.21	1.40	66.15	65.50	1.53	1.006	1.005	0.245	0.99	0.99	0.54	0.65	0.98	0.95
07 (4)	65.750	65.17	1.49	66.27	65.16	2.60	1.008	1.000	1.253	0.96	0.98	0.58	1.11	0.98	0.98
08 (5)	66.030	64.95	1.91	66.20	64.72	3.16	1.003	0.996	1.328	0.99	0.97	1.08	1.48	0.97	0.97
09 (6)	63.750	64.60	1.86	62.32	64.24	2.95	0.978	0.994	1.217	0.97	0.96	-0.85	-1.92	0.97	0.96
10 (7)	63.450	64.30	1.58	62.65	63.79	2.39	0.987	0.992	0.974	0.96	0.95	-0.85	-1.14	0.97	0.94
1811 (8)	64.000	63.98	0.62	63.77	63.58	1.78	0.996	0.994	1.255	0.90	0.93	0.02	0.19	0.90	0.71
12 (9)	64.285	64.16	0.72	64.00	64.08	1.54	0.996	0.999	0.899	0.94	0.90	0.13	-0.08	0.87	0.67
13 (10)	64.420	64.46	0.55	65.15	64.60	1.05	1.011	1.002	0.649	0.85	0.82	-0.04	0.55	0.17	0.67
14 (11)	64.645	64.74	0.69	64.85	64.99	0.98	1.003	1.004	0.561	0.83	0.83	-0.09	-0.14	0.79	0.68
15 (12)	64.930	64.93	0.63	65.25	65.19	0.51	1.005	1.004	0.547	0.56	0.84	0.00	0.06	0.94	0.71
1816 (13)	65.410	64.58	1.71	65.72	64.71	1.77	1.005	1.002	0.370	0.98	0.87	0.83	1.01	0.98	0.94
17 (14)	65.235	63.42	4.41	64.97	63.28	5.23	0.996	0.998	0.986	1.00	0.90	1.82	1.69	0.99	0.97
18 (文政 1)	62.678	62.19	5.25	62.75	62.02	5.76	1.001	0.997	0.941	0.99	0.97	0.49	0.73	0.98	0.97
19 (2)	58.823	61.39	4.44	57.72	61.44	4.91	0.981	1.001	1.504	0.95	0.97	-2.57	-3.72	0.96	0.97
20 (3)	58.800	60.82	3.11	58.92	61.05	4.14	1.002	1.004	1.521	0.95	0.96	-2.02	-2.13	0.95	0.94
1821 (4)	61.430	61.12	3.80	62.85	61.49	4.94	1.023	1.006	1.554	0.97	0.94	0.31	1.36	0.94	0.90
22 (5)	62.365	61.59	3.17	63.00	62.65	3.58	1.010	1.017	1.395	0.92	0.92	0.78	0.35	0.85	0.90
23 (6)	64.163	62.70	2.39	64.95	63.85	1.59	1.012	1.019	1.248	0.88	0.90	1.46	1.10	0.79	0.89
24 (7)	61.175	63.29	2.29	63.55	64.23	1.40	1.039	1.015	1.326	0.86	0.88	-2.11	-0.68	0.96	0.88
25 (8)	64.365	63.71	2.24	64.90	64.49	0.91	1.008	1.012	1.561	0.86	0.80	0.65	0.41	0.89	0.83
1826 (9)	64.365	63.60	2.21	64.75	64.34	0.82	1.006	1.012	1.567	0.88	0.72	0.76	0.41	0.89	0.82
27 (10)	64.505	64.14	0.61	64.30	64.53	0.46	0.997	1.006	0.542	0.51	0.72	0.36	-0.23	0.62	0.79
28 (11)	63.590	64.16	0.64	64.20	64.46	0.34	1.010	1.005	0.569	0.46	0.74	-0.57	-0.26	0.76	0.81
29 (12)	63.875	63.81	1.23	64.52	64.09	1.07	1.010	1.004	0.565	0.89	0.75	0.06	0.43	0.82	0.82
30 (天保 1)	64.488	63.37	1.43	64.55	63.71	1.56	1.001	1.005	0.426	0.96	0.84	1.12	0.84	0.96	0.89
1831 (2)	62.600	63.26	1.44	62.90	63.39	1.67	1.005	1.002	0.624	0.93	0.86	-0.66	-0.49	0.93	0.92
32 (3)	62.295	63.13	1.33	62.40	63.12	1.35	1.002	1.000	0.440	0.95	0.87	-0.83	-0.72	0.96	0.95
33 (4)	63.045	62.82	0.59	62.60	62.72	0.48	0.993	0.998	0.516	0.55	0.87	0.22	-0.12	0.95	0.94
34 (5)	63.210	62.61	1.10	63.15	62.45	0.93	0.999	0.997	0.398	0.94	0.88	0.60	0.70	0.95	0.94
35 (6)	62.960	62.31	1.73	62.55	62.08	1.66	0.993	0.996	0.319	0.98	0.88	0.65	0.47	0.90	0.93

付表3 (その4) 京都金相場の動向 (対江戸金相場)

年次	京都金相場 (金1両につき銀匁)			江戸金相場 (金1両につき銀匁)			江戸金相場/ 京都金相場			京都金相場と江戸金相場の 「5カ年移動相関係数」					
	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	各年値	5カ年 移動 平均	5カ年 移動変 動係数	単純 相関 係数	5カ年 移動 平均	京都 金相場 残差	江戸 金相場 残差	残差 相関 係数	5カ年 移動 平均
1836 (天保 7)	61.550	61.67	2.32	61.55	61.64	1.96	1.000	1.000	0.604	0.98	0.95	-0.12	-0.09	0.92	0.92
37 (8)	60.790	60.90	2.34	60.55	61.09	1.55	0.996	1.003	0.989	0.95	0.94	-0.11	-0.54	0.92	0.91
38 (9)	59.840	60.68	1.76	60.40	61.08	1.52	1.009	1.007	0.849	0.88	0.95	-0.84	-0.68	0.90	0.92
39 (10)	59.370	60.81	2.02	60.40	61.32	1.95	1.017	1.008	0.764	0.93	0.95	-1.44	-0.92	0.90	0.93
40 (11)	61.860	61.38	2.85	62.50	62.02	2.57	1.010	1.011	0.394	1.00	0.96	0.48	0.48	0.97	0.94
1841 (12)	62.205	62.27	3.05	62.75	62.96	2.82	1.009	1.011	0.396	0.99	0.98	-0.06	-0.21	0.96	0.93
42 (13)	63.605	63.30	1.92	64.05	63.90	1.95	1.007	1.009	0.211	0.99	0.96	0.30	0.15	0.97	0.92
43 (14)	64.290	63.68	1.43	65.10	64.35	1.54	1.013	1.011	0.349	0.97	0.90	0.61	0.75	0.84	0.87
44 (弘化 1)	64.550	64.04	0.61	65.10	64.71	0.67	1.009	1.010	0.353	0.85	0.84	0.51	0.39	0.86	0.75
45 (2)	63.735	64.11	0.50	64.73	64.74	0.58	1.016	1.010	0.425	0.70	0.72	-0.37	-0.01	0.72	
1846 (3)	64.020	64.00	0.52	64.56	64.47	0.79	1.008	1.007	0.570	0.70	0.70	0.02	0.09	0.35	
47 (4)	63.935	63.58	1.00	64.22	64.25	0.62	1.004	1.011	0.957	0.39		0.35	-0.03		
48 (嘉永 1)	63.755	63.12	1.80	63.76	63.75	1.43	1.000	1.010	0.928	0.86		0.64	0.01		
49 (2)	62.463	62.85	1.63	64.00			1.025					-0.39			
50 (3)	61.425	62.68	1.36	62.20			1.013					-1.25			
1851 (4)	62.690	63.16	2.83									-0.47			
52 (5)	63.045	64.00	3.58	62.85			0.997					-0.95			
53 (6)	66.170	65.67	4.43	65.10			0.984					0.50			
54 (安政 1)	66.650	67.17	4.37	66.30	66.66	4.35	0.995	0.992	0.716	0.99		-0.52	-0.36		
55 (2)	69.775	68.64	2.99	69.80	68.23	3.52	1.000	0.994	0.907	0.97		1.14	1.57		
1856 (3)	70.225	69.71	2.63	69.25	69.33	2.59	0.986	0.995	0.830	0.95	0.89	0.51	-0.08	0.66	
57 (4)	70.355	70.97	1.82	70.70	70.37	1.23	1.005	0.992	1.062	0.82	0.73	-0.62	0.33	0.21	
58 (5)	71.545	71.40	1.60	70.60	70.89	1.65	0.987	0.993	1.221	0.72	0.71	0.14	-0.29	0.32	0.47
59 (6)	72.965	71.64	1.31	71.50	71.76	1.75	0.980	1.002	1.984	0.18	0.70	1.33	-0.26	0.72	0.47
60 (万延 1)	71.915	72.91	3.04	72.40	73.57	4.93	1.007	1.009	2.601	0.89	0.73	-0.99	-1.17	0.46	0.54
1861 (文久 1)	71.400	74.22	4.04	73.60	75.33	5.24	1.031	1.015	2.287	0.91	0.78	-2.82	-1.73	0.66	0.63
62 (2)	76.715	77.26	8.75	79.75	77.99	6.47	1.040	1.011	3.006	0.95	0.95	-0.54	1.76	0.53	
63 (3)	78.090	81.98	11.84	79.40	81.62	7.81	1.017	0.999	4.187	0.99	0.97	-3.89	-2.22	0.78	
64 (元治 1)	88.160	88.31	12.76	84.78	86.49	9.08	0.962	0.983	4.280	0.99		-0.15	-1.71		
65 (慶応 1)	95.550	91.65	10.11	90.55	88.52	7.83	0.948	0.968	2.904	0.99		3.91	2.03		
1866 (2)	103.025	92.14	9.10	97.95			0.951					10.88			
67 (3)	93.400			89.90			0.963								
68 (明治 1)	80.575														

(出所) 江戸金相場は、新保博『近世の物価と経済発展』。

注

- 1) 筆者はこれまでに金（銀）銭相場の動向について、以下のような論稿をおおやけにしている。拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」『甲南経済学論集』44巻2号（2003年），同「江戸末期（文政～幕末期）における土佐・徳島・姫路の金相場——大阪との比較において——」『甲南経済学論集』44巻4号（2004年），同「幕末期における西摂・北摂池田の金相場——大阪との比較において——」『甲南経済学論集』46巻1号（2005年），同「近世後期における大津・福井の金相場——大阪との比較において——」『甲南経済学論集』48巻3号（2007年），同「近世後期における大阪と江戸の銭相場——金（銀）相場との対比において——」『甲南経済学論集』51巻1・2・3・4合併号（2011年），同「[続] 近世後期における大阪と江戸の銭相場——金（銀）相場との対比において——」『甲南経済学論集』52巻3・4合併号（2012年）。
- 2) 前掲拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」。
- 3) 新保博『近世の物価と経済発展——前工業化社会への数量的接近——』（東洋経済新報社，1978年），30～37，171～176ページ。なお，原資料は『大阪金銀米銭為替日々相場表』など。
- 4) 宮本又郎「幕末明治初期京都の物価変動について；1830～79年——大阪との比較において——」『大阪大学経済学』30巻2・3合併号（1981年），168ページの表2。
- 5) 前掲拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」。
- 6) 三井高維編述『新稿両替年代記關鍵（巻二考證篇）』（岩波書店，1933年）[1995年復刻]，341～349ページ。
- 7) 資料解題によると，「原本には，毎日の相場を載せ，これに一箇月，半月，際三日，半季，一箇年等の平均相場を記入したるものであるけれども，本表は，別に其内より毎年の最高最低の高下を調査してこれを作る」とある。前掲『新稿両替年代記關鍵（巻二考證篇）』，349ページ。
- 8) 1781（天明元）年と1857（安政4）年。
- 9) 前掲拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」，4ページ。
- 10) 同上，28ページ。
- 11) 以上の統計操作については，拙著『近世の市場経済と地域差——物価史からの接近——』（京都大学学術出版会，1996年），21～22ページ。
- 12) 前掲拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」，24ページ。
- 13) 以上の統計操作については，前掲拙著『近世の市場経済と地域差——物価史からの接近——』，43～44ページ。
- 14) 前掲新保『近世の物価と経済発展』，171～176ページ。なお，原資料は『新稿両替年代記關鍵』巻1，資料編。
- 15) 江戸金相場は，1851（嘉永4）年のデータを欠いているので，この年近傍の極値を確定することはできないが，視察によれば，1850年前後に谷を認めることができよう。
- 16) 前掲拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」，15ページ。
- 17) 同様のことは大坂と江戸についても言えて，銀遣い圏大坂でやや銀高，金遣い圏江戸でやや金高であった。前掲拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」，15ページ。
- 18) 前掲拙稿「近世後期における三都の金（銀）相場」，15ページ。
- 19) 同上，16ページ。
- 20) 江戸／大坂比については，同上，17～18ページ。
- 21) 同上，19～21ページ。